



下じきは何でつくってあるの

プラスチックで、できているものが多い

わたしたちが、紙やノートに字を書くときに、下じきを使います。下じきは、セルロイドや金属の板などで、できているものが多かったのですが、最近では、ほとんどの下じきは、プラスチックでできています。

そのほか、消しゴム、筆箱、定規なども、プラスチックでできています。

プラスチックは、石油などからつくる

プラスチックは、合成樹脂ともいいます。「松やに」のように、針葉樹などから出る液(やに)を樹脂といいます。この天然の樹脂に似た、人工的に作られた(合成された)樹脂を、合成樹脂といいます。

現在、合成樹脂のほとんどは、石油や天然ガスを原料にしてつくられています。合成樹脂には、ポリエチレン、ポリスチレン、塩化ビニルなどがあります。

プラスチックをつくるには、まず、原料の石油や天然ガスから、プラスチックのもとをつくります。

次に、すべすべした、プラスチックの特徴を出したり、色をつけたりするために、薬品を加えます。その後、熱を加えてやわらかくし、それを型にはめて、いろいろな製品をつくります。(監修・青木 国夫)

